

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : Lesley University

**留学期間** : 平成 28 年 9 月 7 日 ~ 平成 29 年 5 月 12 日

私は交換留学生として 2 学期間、アメリカのマサチューセッツ州ケンブリッジにあるレズリー(Lesley)大学で様々な経験をし、多くのことを学びました。それらの私の経験に基づき、留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス、の 4 つの内容について今から述べます。

私は秋学期にはホームステイをさせていただきました。初めて単身で海外に出て、ホームステイの経験もなかった私は、ホストファミリーの方と話すことさえもとても緊張していました。しかし、彼らはとても心優しく、私をまるで家族の一員のように受け入れてくれました。私は彼らと生活を共にすることによって、リアルなアメリカ人の家庭での生活を体感することができました。

また、私は大学で現地の学生と同じ授業を受けていたのですが、初めの頃はほとんど内容が聞き取れなかったので、手を挙げて積極的に自分の意見を発することもなかなかできず、授業についていくことさえも困難な状況でした。さらに、毎回の授業で課される課題の量はとても多く、特殊なものも多かったため、それらをこなすために毎日何時間もかけて課題に取り組みました。例えば、経営学の授業ではアメリカの企業で働くマネージャーを自分で探し、アポイントメントを取ってインタビューをする課題や様々なグループワークでの課題、プレゼンテーションの発表などが課され、日本の大学との違いを大きく感じていました。私はそれらの課題に毎回手取ってしまう自分や自分のリスニング力や会話力などの英語力の低さに落胆し、ひどく自己嫌悪に陥ってしまいました。さらに、同じ交換留学生として大学で学んでいる年上のヨーロッパ・南米出身の友達と自分の英語力などをつい比較してしまい、自信をなくしていた時もありました。

そんな中、10 月末から 2 月にかけては大学の女子バスケットボール部に所属し、チームの仲間やコーチと共にほぼ毎日練習や試合に励みました。仲間との意思疎通が常に必要とされるスポーツでしたが、当時まだ自分の英語力などに自信のなかった私でもチームの一員として快く受け入れられたことはとても嬉しかったです。そんな信頼できるコーチやチームの仲間のおかげで、私は失敗を恐れずに何事にも挑戦するようになり、彼女らとコミュニケーションを繰り返すことによって徐々に自分の英語力にも自信が持てるようになりました。春学期になると寮に移り、初めてのルームメイトとの共同生活が始まりました。彼女は日本にとっても興味があるということですのですぐに意気投合し、休みの日にはよく息抜きとして一緒にボストン市内へ観光に行き、その地の歴史などを楽しみました。私は友達と話をすることによって、自分の英語力やコミュニケーション能力を向上させ、徐々に自分に自信をつけていくことができました。

留学の成果の一つ目は、英語力の向上です。これはわかりやすく数値として TOEFL iTP の点数でも表されました。留学前の私の最高点数は 530 点でしたが、帰国後は 543 点を取ることができました。二つ目は、自分に自信が持てるようになったことです。留学中、上記に述べたように私は自分の英語力が周

りの友達よりも劣っていると感じていたため、何事にも自信が持てなくなり、消極的になり、さらにはそのような自分を卑下していました。しかし私は、自分のありのままを受け入れてくれる友達と過ごす間に、日常生活での小さな不安や自分のコンプレックスを次第に感じなくなりました。そして、自分の英語が通じたことなどの小さな成功体験を繰り返すことによって、それらは確実に自分の大きな自信へと繋がっていきました。三つ目は、何事にも積極的に取り組めるようになったことです。自分に自信をつけたことによって、失敗への不安はなくなり、何事にも挑戦しようという前向きな気持ちになりました。それに伴い、コミュニケーション力も向上させることができました。

私は将来海外で働きたいと考えているので、それに向けてこれからは英検の準1級やTOEICに加え、ビジネス英語の勉強にも力を入れ、さらなる英語力の向上を目指します。また、私は後期に英語を使う企業でインターンシップをさせていただけるので、働くとはどのようなものなのかを体感しつつ、積極的に英語を活用したいです。

これから留学する人へのアドバイスとして私が伝えたいことは、「失敗を恐れない」ということです。留学中は、慣れない環境の中で見るもの全てが新しいと言っても過言ではないほど、知らないことやわからないことで溢れています。そういった新しいことに挑戦するには、勇気が必要です。失敗するかもしれない、うまくできないかもしれないと思うと消極的になってしまいます。具体的な例を挙げると、現地で友達と会話をする時、英語で話すことに慣れていないと様々な不安が頭をよぎると思います。文法を間違えたらどうしよう、話が通じなかったらどうしよう、などとネガティブなことばかり考えていてはなかなか行動に移せません。全て完璧にできなくても大丈夫なのです。必死に身振り手振りなどをして伝えようとする姿勢を見せれば、相手も受け入れてくれますし、理解しようとしてくれます。失敗しても大丈夫なのです。恥ずかしいと思う人もいるかもしれませんが、失敗しない人なんていません。そして失敗から学ぶこともたくさんあるのです。失敗は勇気を出して挑戦した人にしかできません。「失敗は成功のもと」、この言葉を胸に刻んで何事にも勇気を出して挑戦してください。留学を終えた私が今感じるように、あなたが留学中で得たものはすべて、あなたの生涯の大きな財産となることでしょう。